



持続可能なソリューションに至るプロセスの枠組み

第1回つくば3Eフォーラム

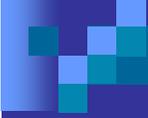
セッション3 省エネ都市づくりにむけて

13時－15時 2007年12月16日(日)

筑波大学 大学会館ホール3階

(財)民間都市開発推進機構 都市研究センター

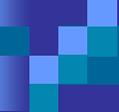
副所長兼研究理事 鈴木敦



マネジメントが注目される時代



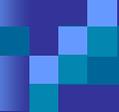
我が国でも日産のゴーンCEO



マネジメントの視点からの、 気づきの点をご説明



(具体のデータを扱わない) 枠組み



UCバークレー校は、伝統ある建設マネジメント学科(大学院修士課程)を有する。



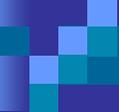
同学科で教えるPMが
コンピュータ・ソフトウェア開発、
映画製作等
建設以外に**応用**できることをPR

UCバークレー校 イブス教授談

- 「プロジェクトは、マネジメントを要求する。
- プロジェクトあるところ、PM知識の必要あり。」

「つくばエコシティーイニシア
ティブ(つくばエコシティー構
想)」は、
持続可能なソリューション

「つくばエコシティーイニシア
ティブ(つくばエコシティー構
想)」のコアプロジェクトと位
置づけられる「つくば3Eプロ
グラム」



「つくば3Eプログラム」と
「つくば3Eプログラムの**構築**」は、
いずれもプロジェクト

一般に、プロジェクトは、
①完成年月日（納期）

② 予算

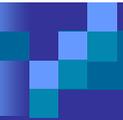
③求められる品質が
事前に定まっている。

「T3EPの構築」は、①**北海道洞爺湖サミット**（2008年7月7日～9日（首脳会合））で公表することが決まっております、

策定作業の開始以前 に、②予算と

③品質に係る定性的又は定量的な**目標を定める必要**が生じるので、

よって、1つのプロジェクト



喩えれば、
「つくば3Eプログラム」は
「長期間にわたり便益を
発生し続ける建築物」

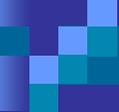


「つくば3Eプログラムの
構築」は、
当該建築物の「建築」。



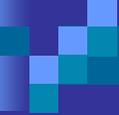
喩えれば、
「つくば3Eプログラム」は、
「コンピュータ・ソフトウェア」

「つくば3Eプログラムの構築」は、
当該ソフトウェアの「開発」。



(建築の比喩の続き)
建築プロジェクトに当たっ
ては、

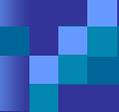
プランニング、スケジューリング、積算、コストコントロールすなわち**建設マネジメント**が必要。



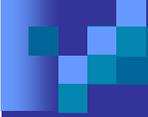
プロジェクト・マネジメント (PM)の3要素は、 品質(Quality)



コスト (Costs)



及び時間 (Delivery)



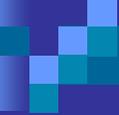
QCD



「つくば3Eプログラムの 構築」に当たっても、



QCDに係る具体的な目標を設定する必要。

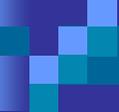


「つくば3Eプログラム」の 品質については、

ハイリゲンダム・サミット（2007年6月6日～8日（首脳会合））に先立つ国際交流会議「アジアの未来」晚餐会における安倍首相（当時）の演説「美しい星へのいざない Invitation to “Cool Earth 50”～3つの提案、3つの原則」が模範となるのではないか。

同演説は、問題提起－提案の全体像
－**提案1**：長期戦略－**提案2**：中期戦
略（**3つの原則**を提唱。また、「資金メ
カニズム、エネルギーの取組、その他
の手法の検討」を含む。）－**提案3**：京
都議定書の目標達成に向けた国民運
動の展開－結び で構成されている。

要するに、「つくば3Eプログラム」は、高い**内部整合性**を有するとともに、

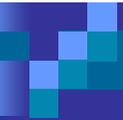


外部環境の下で**実現可能性**及び**持続可能性**を備えていることを、

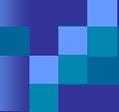


国際会議場裏で訴求し、
理解される必要。

特に、重要なのは、「2030年までに、
筑波研究学園都市における温室
効果ガス排出量を半減する」
目標を達成するための**戦略**。



一般に、戦略は、「力の
入れどころ」を特定し、



継続的な**資源配分**の方
針を示す。



例えば、“Cool Earth 50”
の長期戦略は、①技術革新
の開発 及び ②低炭
素社会づくり に集中。



「つくば3Eプログラムの構築」においても、上記数値目標の達成に向けて、「力の入れどころ」を絞り込む必要。

第2の「コスト」は、「つくば3Eプログラム
の構築」に係るプロジェクト・マ
ネジメントをアウトソーシングする
か否かにより、大きく異なる。



プロジェクト・マネジメントは、
QCD既にできているコンセプト、
設計等を形にするに留まらない。

プロジェクト・マネジメントは、
QCD管理の必要に迫られて、
否応なく、コンセプト、設計等を
一義的かつ最終的に**決めていく**
プロセス



同時に、
プロジェクト・マネジメントは、
リスク・マネジメント

第3の「時間」は、所与。



ご清聴ありがとうございます